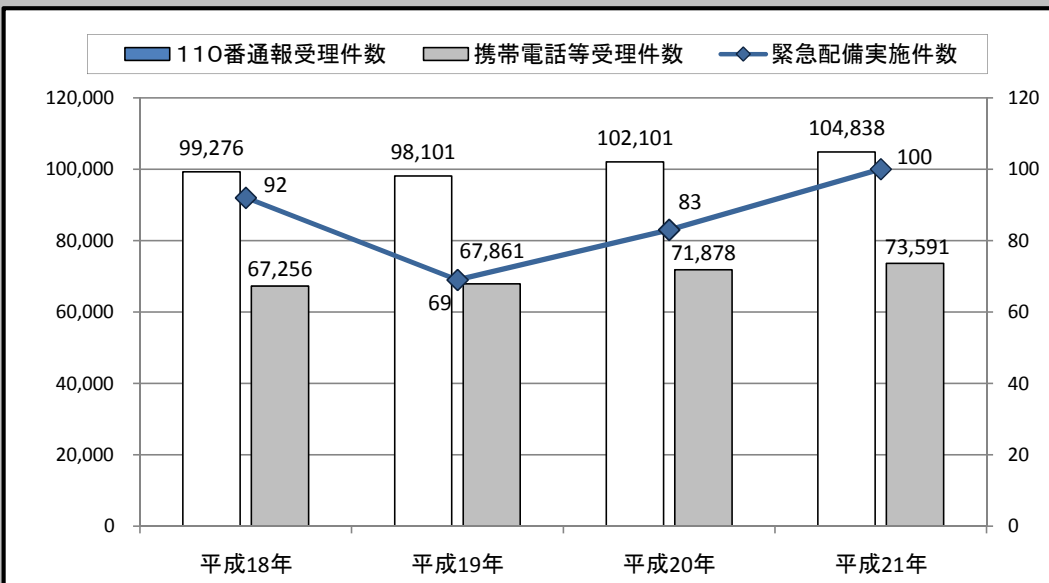


業務名	初動警察活動の推進
-----	-----------

○業務に関する統計

項 目	統 計 の 推 移				
緊急配備実施件数	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	単位
	92	69	83	100	件
110番通報受理件数	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	単位
	99,276	98,101	102,101	104,838	件
(うち、携帯電話等受理件数)	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	単位
	67,256	67,861	71,878	73,591	件
	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	単位



○業務の主なコスト

No.	事業名	平成21年度事業費(千円)	平成22年度事業費(千円)
1	総合指令警察運営費	2,364	2,051
2	通信指令課機器維持管理費	177,185	516,557
3			
4			
5			
6			
7			
8			
合 計		179,549	518,608

○平成21年の取組み

- 初動警察刷新強化に向けた精強な地域警察の構築等の推進に向け、意識改革の徹底、通信指令機能の強化、通信指令を担う人材の育成強化、初動警察における事案対応能力の強化などの各重点施策に取り組んだ。
- 警察本部指令室及び警察署通信室の機能強化、通信指令技能指導官による反復継続した指導教養、通信指令専科教養、通信指令競技会の開催等、初動警察刷新強化に取り組んだ。
- 人質を伴う持凶器・立てこもり事案発生時の対応要領を作成し、関係所属に配布した。
- 凶悪事件等発生時の迅速・的確な緊急配備により、緊急配備中の検挙率が41.0%と前年比+6.1ポイント向上した。
- 1月10日を「110番の日」、4月10日、7月10日、10月10日を「110番広報強化日」として広報啓発活動を推進し、110番通報の適切な活用を呼びかけた。

○課題と平成22年の取組み

- 県下各警察署に通信指令準技能指導員を配置し、自所属の警察職員に対して通信指令業務を通じた実践的な指導、教養を行い、通信指令に関する知識及び技能について組織全体でのレベルアップを図る。
- 技能検定制度を構築し、通信指令技能の向上、優秀な人材の組織的な把握及び人材育成を図る。
- 現行の通信指令システムは、平成23年2月末でリース満了となる。凶悪化・広域化・スピード化が進んでいる犯罪情勢の変化に的確に対応するため本年度中に通信指令システムの高度化更新を図る。
- 迅速・的確な初動警察活動を推進するため、GPS機能、データ通信機器等を付加した地域警察デジタル無線指令システムの整備を図る。